



かけはし

岩国市立錦中学校だより 第12号

令和5年(2023年)10月10日(火)

<https://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/nishiki-j/>



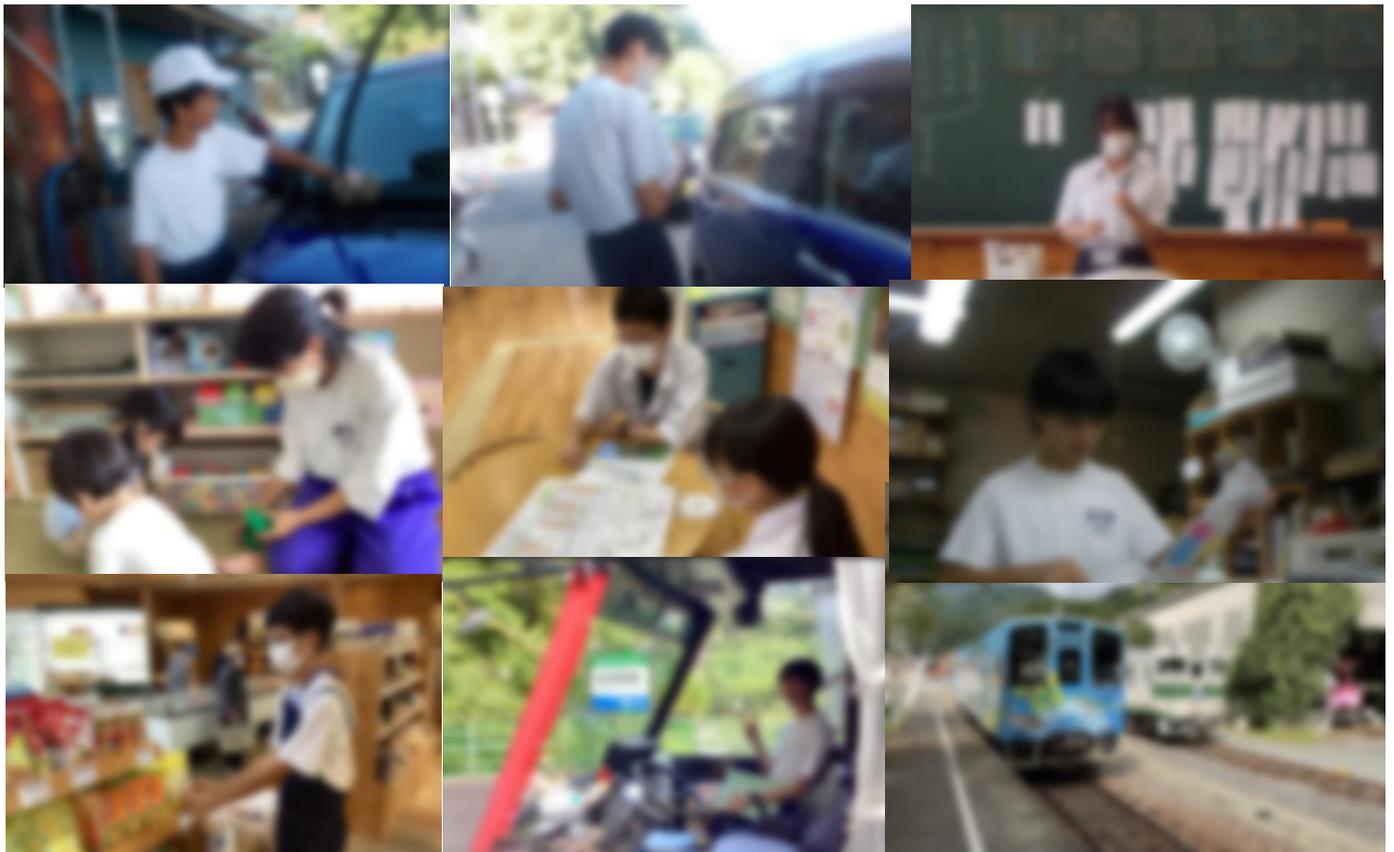
「十月十日」を漢字一文字で表すと・・・

10月に入りめっきり涼しくなってきました。黄金色に色づいた稲穂、実りの秋がやってきました。私は、『十月十日』と聞くと『体育の日』を連想してしまいましたが、漢字一文字で表すと、どうなるのでしょうか。そうです。『朝』という漢字になるんです。『十月十日(とつきとうか)』、それは胎児がお母さんのお腹のなかで『いのち』を育む歲月です。実は私たちは『朝』が来るたびに、生まれ変わっているのです。今日も『朝』から錦中生の新しい人生が始まっているのです。『毎朝』とは『My朝』とも書けます。『朝』は私たちのためにある。すてきなことだと思いませんか。新しい自分に『ワクワク』しませんか。

それでは、『ワクワク』した気持ちをもつためにはどうすればいいのでしょうか。そこで提案があります。『どうせ』という言葉を使わないようにしましょうではありませんか。『どうせ』という言葉には、自分つまらない人間だと自分で自分を卑下した気持ちが含まれています。そのマイナスな言葉をつかった瞬間に可能性が消えてしまうような気がしませんか。だからこそ、これからは『続ワクワク』『脱どうせ』『禁どうせ』でいこうではありませんか。やればできる！君たちならできる！

「夢」から「志」へ 2年生職場体験～貴重な経験になりました～

9月28日(木)29日(金)に2年生8名は職場体験に臨みました。錦地区にある「広瀬自工」「錦清流小学校」「ひろせ保育園」「錦総合支所」「広瀬印刷」「道の駅ピュアラインにしき」「錦川鉄道」さんにお世話になりました。ありがとうございました。



洗車したり、小学校1年生に授業をしてみたり、幼児と遊んでみたり、行政の仕事の手順を教えてもらったり、広告を整えたり、品揃えをしたり、運転席に乗ってみたりと、錦中での学校生活では絶対に体験できない貴重な経験を2日間してきました。

2年生は「将来こんな仕事をしてみたい」「こんな大人になりたい」「こんな生き方がしたい」といろいろな夢を描いているでしょう。とても大切なことです。自分自身が抱いた「あこがれ」から「なりたい自分を描いている」それが『夢』です。様々な人との出会いや経験から「世の中が求めていること」「自分を取り巻く人々が求めていること」は何なのかを考えるようになり、さらに進化して、最後は「人の役に立つ」「人の喜びにつながる」ことは何なのかを考える、それが『志』です。

職場体験を通し、『夢』について考えた2年生、次は『志』です。来年2月開催予定の『立志式』が楽しみです。君たちならできる！

地域の方々が錦中学校に来てくださっています

10月に入って、地域の方々が錦中学校に来てくださり、学校の教育活動に力を貸してくださっています。

10月2日(月)の月頭集会には「錦よさこい連蜚」代表の二階堂さんと藤原さんが来てくださいました。文化祭で「好きです！錦町」をみんなで踊ろうと呼びかけてくださいました。また、踊りの指導をしていただけです。ありがとうございます。はじめての試みですが楽しみです。

10月3日(火)に「錦町地域おこし協力隊」の佐々木かおりさんが1年生のふるさと学習の講師として来てくださいました。1年生は文化祭に向けて「五竜の滝」「SOZU 温泉・とことこトレイン」のPR動画を撮影します。動画撮影・編集のポイント、現地の情報、錦中生からの質問等を丁寧に優しく対応してくださいました。現地取材にも同行していただきます。ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

10月6日(金)には、体育館で「錦地区民生委員・児童委員協議会定例会」が開催され、その後20名以上の民生委員・児童委員さんが授業参観してくださいました。ありがとうございました。



また、本日10月10日(火)は「岩国市食生活改善推進協議会(食推さん)」のご協力で「錦保健センター」において「料理教室」が開かれ、2年生が活動します。10月13日(金)には「母子保健推進協議会・保健師」さんのご協力で「ひろせ保育園」において「命の始まりを学ぶ会」が開かれ、3年生が活動します。

錦中生は地域の方々との「繋がり」の中で、一人ひとりがこれからの世の中を「生き抜いていく力」を身に付けています。今後も錦中生をしっかり鍛えてください。よろしくお願いいたします。